

三重県遊協が フリースクール 「三重シュール」に寄付

三重県遊技業協同組合(権田清理理事長)は2024年11月26日(火)、県内でフリースクールを運営するNPO法人三重シュールに寄付を行った。

同県遊協では、2003年から三重シュールの家賃補助を社会貢献活動の一環として行っており、2016年からは全額給付型の奨学金制度を発足。2019年度からは飲料メーカーの協力を得て、収益金の一部が三重シュールに寄贈される寄付金型自動販売機の運用を行っている。

同県遊協の9月の理事会では、厳しい経営環境が続く業界内にあっても、座右の銘にしている「社会貢献の灯は消さない」をあらためて決議。善意の箱(金)の

ハート)による浄財と三重ファン感謝デー売上の一部を加え、支援することを決定した。

津市内で行われた贈呈式では、権田理事長から三重シュールの石山佳秀代表に目録が手渡された。寄付金は、全額給付型奨学金と入居費全額補助金として活用される。



目録を手渡した権田理事長(左)と三重シュールの石山代表

新潟県遊協が共同募金会を通じ 障害者支援施設に車両を助成

新潟県遊技業協同組合(朴永雅理事長)は2024年12月9日(月)、新潟市内の新潟ユニゾンプラザで障害者支援施設への車両助成交付式を開催した。

新潟県共同募金会(佐藤明会長)の社会福祉施設整備費助成事業を通じ、各施設の車両購入助成金を寄付したもので、交付式では朴理事長から寄贈先の社会福祉法人新潟地区手をつなぐ育成会と特定非営利活動法人あおぞらの代表に目録とゴールデンキーが手渡された。

新潟県遊協による、県共同募金会を通じた車両購入助成金の寄付は今回で13回目。朴理事長は「遊技業界では『遊びの力で、心を元気に。』というパーパスを掲げ、地域社会やお客様の心を元気にすべく様々な取組みを推進している。当組合でも、地域社会に貢献し、福祉事業に少しでも役立っていたらいいことで、地

域の皆さまの心を元気にすることができればと考えている。どうか贈呈車両を末永く愛用いただければ。」と挨拶。寄贈を受けた障害者支援施設の施設長等からは、「車両は、通所が困難な利用者等の移送に必要不可欠なもの。地域の障害者福祉の向上に全力で取り組んでいきたい。」などの謝辞が寄せられた。

車両助成交付式後には、県遊協による同活動を通じての社会貢献に対する厚生労働大臣からの感謝状が県共同募金会会長から朴理事長に贈呈された。

